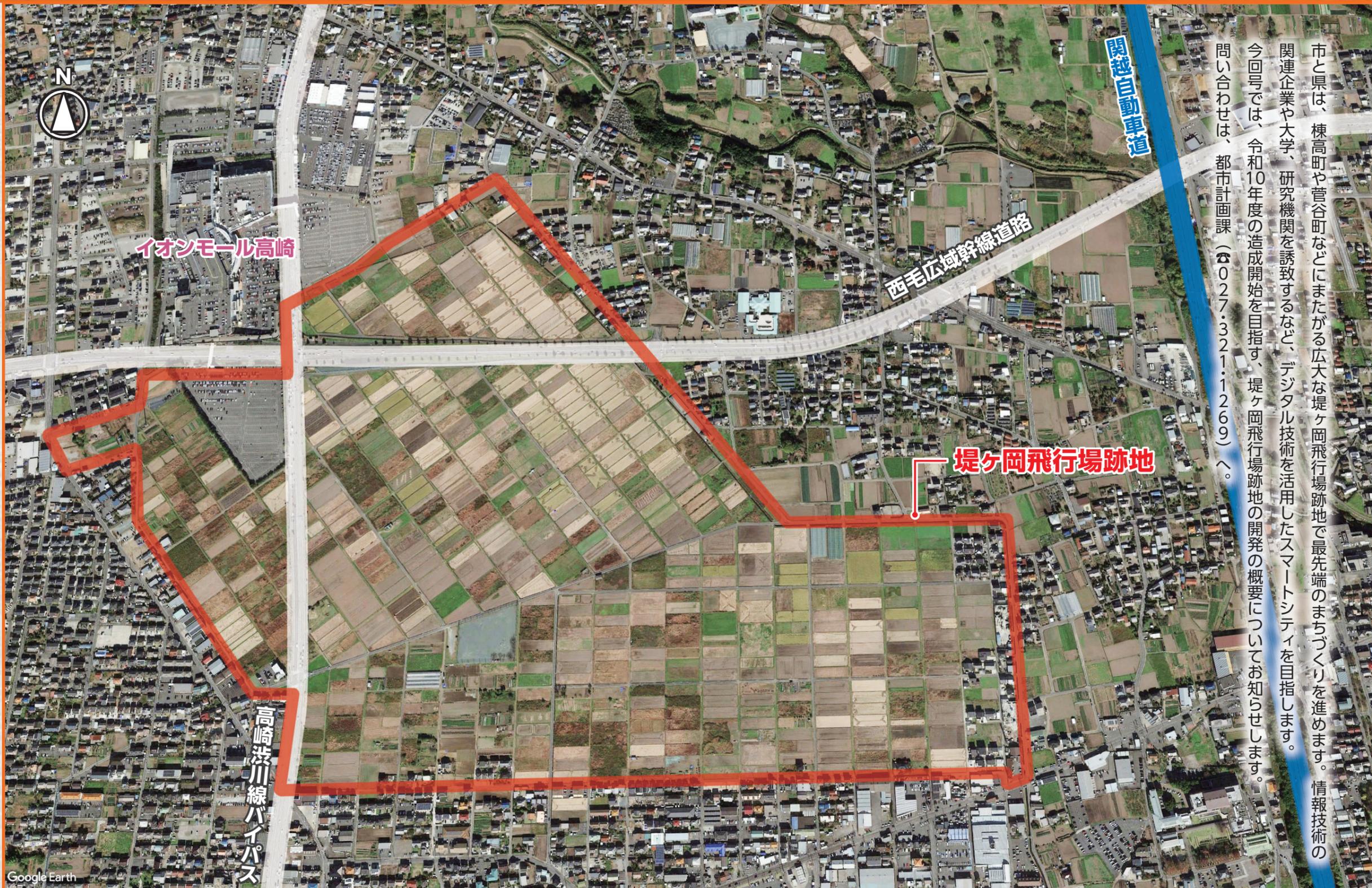


シリコンバレーを超えるスマートシティを高崎に実現

堤ヶ岡飛行場跡地を最先端のまちへ

市と県は、棟高町や菅谷町などにまたがる広大な堤ヶ岡飛行場跡地で最先端のまちづくりを進めます。情報技術の関連企業や大学、研究機関を誘致するなど、デジタル技術を活用したスマートシティを目指します。今回号では、令和10年度の造成開始を目指す、堤ヶ岡飛行場跡地の開発の概要についてお知らせします。問い合わせは、都市計画課（☎027・321・1269）へ。



交通の利便性が高く
災害の危険性が低い立地

イオンモール高崎（棟高町）の南東部に広がる「堤ヶ岡飛行場跡地」。西毛広域幹線道路と高崎渋川線バイパスが交わる他、関越自動車道の前橋インターや駒寄スマートインターにも近く、交通の利便性の高い立地です。平たんで災害の危険性も低いことから「県中央部に残された最後の優良地」と呼ばれる、非常にポテンシャルの高い地域です。

AIやITの関連企業や
大学などを誘致

市と県は、堤ヶ岡飛行場跡地の開発を推進し、最先端のスマートシティを目指すことで合意しました。AI（人工知能）やIT（情報技術）の関連企業や大学、研究機関を誘致。デジタル技術を活用

し、さまざまな公共交通の接続や乗り換えの利便性の向上を図ります。IT関連企業の集積するアメリカ合衆国の「シリコンバレー」を超えるまちを目指し、令和10年度の造成開始を目標に計画を推進します。

この事業は大規模なものとなるため、さまざまな困難が予想され、造成の着工までには今後数年の期間が必要になります。市は、該当地域の土地の所有者の皆さんをはじめ、関係機関との調整を丁寧に進めていきます。

堤ヶ岡飛行場跡地とは・・・

太平洋戦争末期に陸軍の飛行場として1年ほど使用された約160haの土地。すでに市街地として利用されている部分を除く約93haの区域について、開発を進めていきます。

構想の概要は
次のページで
お知らせします

ストリートライブ in 高崎



■日時 = 5月14日(日)
午前10時30分～午後5時

路上ライブのイベント「ストリートライブ in 高崎 どもかしも」が開催されます。高崎駅西口を中心としたまちなか 20 か所で、県内で活動するロック、ポップス、ジャズ、和楽器演奏など、さまざまなジャンルのミュージシャンがライブを実施。観覧は無料です。出演者は、決まり次第、公式ホームページ（下記）でお知らせします。まちなかがどもかしも音楽で溢れる1日を満喫してください。

問い合わせは、ストリートライブ in 高崎 どもかしも実行委員会の矢嶋伸也さん（☎090-2754-3539）へ。



総勢150組以上のミュージシャンが参加



高崎市一流技能者が決定しました

市内で活躍する技能者を顕彰

市と高崎商工会議所は、市内で活躍する一流の技能者を顕彰し、その技能を映像で広くPRする制度「高崎市一流技能者顕彰事業」を新たに始めました。これは、市内で働くさまざまな一流技能者に光を当て、全国に誇る技術・技能を多くの人に知ってもらうことを目的としたものです。

問い合わせは、産業政策課（☎027-321-1255）へ。

4人の技能者が受賞

1回目となる令和4年度の受賞者が、以下の4人に決定しました。

- 石川久行さん（赤坂町）菓子製造業
- 市川将臣さん（矢中町）金属加工業
- 中田純一さん（藤塚町）だるま製造業
- 萩原侯真さん（箕郷町矢原）宮大工

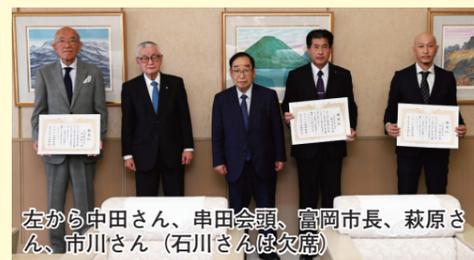
技能者の技や作業工程を映像で紹介

一流の技能を広く知ってもらうため、今回受賞した技能者の技や作業工程を紹介する映像を制作しました。映像は、高崎駅西口のOPAビジョン、高崎駅東口のラ・ビジョン、高崎駅改札前のJスポットビジョン、市の公式YouTubeチャンネルで放映しています。本市が全国に誇る一流の技をぜひご覧ください。

(5) 高崎市役所 ☎027-321-1111

顕彰式が行われました

3月24日、市役所で顕彰式が行われました。式では、富岡市長から顕彰状が、商工会議所の串田会頭から記念品が贈られました。会頭は「初の高崎市一流技能者にふさわしい4人を顕彰することができました。今後も市内で活躍する技能者に光を当てていきたい」と話しました。



左から中田さん、串田会頭、富岡市長、萩原さん、市川さん（石川さん（欠席））



市公式 YouTube チャンネル▶

堤ヶ岡飛行場跡地の開発 3つのコンセプト

1 先端情報技術を持つ企業などが集まる地域

世界的なAIやITの関連企業や、先端情報技術を研究・活用する教育・研究機関を誘致します

2 デジタルトランスフォーメーション(DX※1)を活用した地域

さまざまな分野でDXを活用し、最先端のまちづくりを推進。MaaS※2の実施やAIの活用により、安心・安全な住環境を整備します

3 再生可能エネルギーを活用した持続可能な地域

エネルギーの需要側と供給側を一体的にとらえたエネルギー需給システムを作り、再生可能エネルギーの「地産地消」を目指します

※1 Digital Transformation…デジタル技術を社会に浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革すること

※2 Mobility as a Service…地域住民などの移動のニーズに対応し、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービス

連携して開発に取り組むことを発表

市と県が合同で記者会見を行いました

3月16日、山本県知事と富岡市長による合同の記者会見が県庁で開催され、堤ヶ岡飛行場跡地の活用について発表が行われました。富岡市長は「この土地の可能性を最大限引き出し、市や県の経済の発展につなげたい。シリコンバレーを超えるまちを目指します」と話し、山本県知事は「県として、市の取り組みを全力でサポートしていきます」と応じました。

